

官報

號外

明治四十年二月十七日

日曜日

印刷局

第二十三回 帝國議會 衆議院議事速記錄第八號

明治四十年二月十六日(土曜日)午後一時十一分開議

議事日程 第七號 明治四十年二月十六日

午後一時開議

- 第一 煙草專賣法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
 - 第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
 - 第三 癩癧防ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
 - 第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
 - 第五 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
 - 第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉 第一讀會
 - 第七 郵便法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
 - 第八 東京府北多摩郡埼玉縣北足立郡境界變更法律案(政府提出) 第一讀會
 - 第九 樺太廳特別會計法案(政府提出) 第一讀會
 - 第十 樺太地方裁判所及同管内二區裁判所設置ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會
 - 第十一 會計法中改正法律案(森本駿外) 第一讀會
 - 第十二 衆議院議員選舉法中改正法律案(森本駿外) 第一讀會
 - 第十三 煙草專賣法中改正法律案(森本駿外) 第一讀會
 - 第十四 萬國衛生會議並萬國人口統計學會參列員派遣ニ關スル建議案(山根正) (委員長報告)
 - 第十五 地方裁判所支部全部復舊ニ關スル建議案(奥野市次郎) (委員長報告)
 - 第十六 商科大學設立ニ關スル建議案(根本正外) (委員長報告)
 - 第十七 (特別報告第一號)鐵道速成ノ請願 (委員長報告)
 - 第十八 (特別報告第二號)鐵道速成ノ請願外一件 (委員長報告)
 - 第十九 (特別報告第三號)登記所復活ノ請願 (委員長報告)
- 副議長(箕浦勝人君) 議長缺席ニ付私が代理ヲ致シマス、諸般ノ報告ヲ致シマス (書記朗讀)
- 一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ
- 鹽專賣法廢止ニ關スル建議案
- 提出者 南條吉左衛門君 淺羽 靖君 三井 忠藏君
- 是永 歲太郎君 竹内 正志君

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

會計法中改正法律案

提出者 森本 駿君

衆議院議員選舉法中改正法律案

提出者 森本 駿君

日韓兩國ノ關稅ニ關スル建議案

提出者 早速 整爾君

一委員長及理事左ノ適當選セラレタリ

鹽專賣法廢止法律案

委員長 中西 光三郎君

裁判所管轄區域變更ニ關スル法律案

委員長 高木 龍藏君

戶籍法中改正法律案

委員長 角田 眞平君

羅馬字普及ニ關スル建議案

委員長 江原 素六君

貨幣法中改正法律案

委員長 奧村善右衛門君

鐵道計畫ノ速成改善ニ關スル建議案

委員長 佐竹 作太郎君

衆議院議員選舉法中改正法律案

委員長 栗原 省吾君

○副議長(箕浦勝人君)、會議ヲ開キマス、日程第一煙草專賣法中改正法律案第一讀會、議案ノ朗讀

第一 煙草專賣法中改正法律案(政府提出) 第一讀會

(書記朗讀)

煙草專賣法中改正法律案

第四十一條 政府ノ命令又ハ許可ヲ受ケスシテ煙草ノ輸入ヲ圖リ若ハ其ノ輸入ヲ爲シタル者ハ其ノ煙草ノ價格ノ十倍ニ相當スル罰金ニ處シ其ノ煙草ヲ沒收ス但シ其ノ罰金額ハ百圓ヲ下ルコトヲ得ス

前項ノ價格ハ其ノ煙草ノ生産地又ハ仕入地ニ於ケル原價ニ荷造費、運送費、保險料其ノ他輸入地ニ到著スル迄ノ諸費及輸入稅ニ相當スル金額ヲ加ヘタルモノトス

加ヘタルモノトス

「第四十一條ヲ「第四十一條ノ二」ニ改ム

附則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

（政府委員若槻禮次郎君登壇）

○政府委員（若槻禮次郎君） 政府ノ專賣品ニ付キマシテハ、鹽ノ如キハ其專賣法中ニ密輸入ヲ圖リマシタ場合ノ制裁ガ、規定シテアリマスケレドモ、煙草ニ付テハ專賣法ノ中ニ其規定ガ無イデアリマス、ソレデ煙草ノ密輸入ヲ計リマシタキニハ、關稅法ニ依リマシテ其制裁ヲ加ヘル外仕方ガゴザイマセヌガ、有稅品デアリマス云フト、關稅法ハ此稅金ノ三倍ノ罰金ニ處スルニ云フコトニテ居リマス、相當ナル取締ガ付イテ居リマスケレドモ、煙草ハ專賣品デアリマス故ニ、輸入禁制品デア、輸入禁制品ヲ密輸入シマシタ場合ノ關稅法ノ制裁ハ、其價格ニ相當スル罰金ニ處スルアルノデアリマス、ソレ故ニ煙草ニ付テハ密輸入ヲ計リマシタ云フト、唯其煙草ノ代價ケノ罰金ニ處セラル、ト云フコトデアリマシテ、其制裁ガ甚ダ輕イノデアリマス、故ニ近來ニ至テハ此煙草ノ密輸入ヲ計ルト云フ弊害ガ餘程多クナリマシタ、殊ニ朝鮮邊カラ——近イ所カラ密輸入ヲスルト云フコトガ、餘程多クナリマシタ、唯今ノヤウナ輕イ制裁デ置キマス云フト、國庫ノ上ニ餘程收入ノ差響ヲ生ズル關係ニナリマス、外ノ專賣法案ニ倣ヒマシテ、ヤハリ煙草專賣法中ニ密輸入ニ關スル制裁ヲ定メテ、此密輸入ヲ防グコトニ致シタイト云フノガ、本案ノ趣意デゴザイマス、ドウゾ御協賛ヲ與ヘラレシムトヲ希望致シマス

○副議長（箕浦勝人君） 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

第二 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

○長谷場純孝君 此法案ノ委員ハ議長ノ指名トシテ十八名

（贊成ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君） 長谷場君ノ動議、十八名ノ委員、議長指名ニ御異議アリマセヌカ

（異議ナシト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君） 御異議ナシト認メテ其通決シマス、日程第三、癩豫防ニ關スル法律案第一讀會、議案朗讀

第三 癩豫防ニ關スル法律案（政府提出）

第一讀會

（書記朗讀）

癩豫防ニ關スル法律案

第一條 醫師癩患者ヲ診斷シタルトキハ患者及家人ニ消毒其ノ他豫防方法ヲ指示シ且三日以内ニ行政官廳ニ届出ヘシ其ノ轉歸ノ場合及死體ヲ檢察シタルトキ亦同シ

第二條 癩患者アル家又ハ癩病毒ニ汚染シタル家ニ於テハ醫師又ハ當該吏員ノ指示ニ從ヒ消毒其ノ他豫防方法ヲ行フヘシ

第三條 癩患者ニシテ療養ノ途ヲ有セス且救護者ナキモノハ行政官廳ニ於テ命令ノ定ムル所ニ從ヒ療養所ニ入ラシメ之ヲ救護スヘシ但シ適當ト認ムルトキハ扶養義務者ヲシテ患者ヲ引取ラシムヘシ

必要ノ場合ニ於テハ行政官廳ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ前項患者ノ同伴者又ハ同居者ニ對シテモ一時相當ノ救護ヲ爲スヘシ

前二項ノ場合ニ於テ行政官廳ハ必要ト認ムルトキハ市町村長（市制町村制ヲ施行セサル地ニ在リテハ市町村長ニ準スヘキ者）ヲシテ癩患者及其ノ同伴者又ハ同居者ヲ一時救護セシムルコトヲ得

第四條 主務大臣ハ二以上ノ道府縣ヲ指定シ其ノ道府縣内ニ於ケル前條ノ患者ヲ收容スル爲ニ必要ナル療養所ノ設置ヲ命スルコトヲ得

前項療養所ノ設置及管理ニ關シ必要ナル事項ハ主務大臣之ヲ定ム

主務大臣ハ私立ノ療養所ヲ以テ第一項ノ療養所ニ代用セシムルコトヲ得

第五條 救護ニ要スル費用ハ被救護者ノ負擔トシ被救護者ヨリ辨償ヲ得サルトキハ其ノ扶養義務者ノ負擔トス

第三條ノ場合ニ於テ之カ爲要スル費用ノ支辨方法及其ノ追徴方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第六條 扶養義務者ニ對スル患者引取ノ命令及費用辨償ノ請求ハ扶養義務者中ノ何人ニ對シテモ之ヲ爲スコトヲ得但シ費用ノ辨償ヲ爲シタル者ハ民法第九百五十五條及第九百五十六條ニ依リ扶養ノ義務ヲ履行スヘキ者ニ對シ求償ヲ爲スコトヲ妨ケス

第七條 左ノ諸費ハ北海道地方費又ハ府縣ノ負擔トス但シ沖繩縣及東京府下伊豆七島小笠原島ニ於テハ國庫ノ負擔トス

一 被救護者又ハ其ノ扶養義務者ヨリ辨償ヲ得サル救護費

二 檢診ニ關スル諸費

三 其ノ他道府縣ニ於テ癩豫防上施設スル事項ニ關スル諸費

第四條第一項ノ場合ニ於テ其ノ費用ノ分擔方法ハ關係地方長官ノ協議ニ依リ之ヲ定ム若シ協議調ハサルトキハ主務大臣ノ定ムル所ニ依ル

第四條第三項ノ場合ニ於テ關係道府縣ハ私立ノ療養所ニ對シ必要ナル補助ヲ爲スヘシ此ノ場合ニ於テ其ノ費用ノ分擔方法ハ前項ノ例ニ依ル

第八條 國庫ハ前條道府縣ノ支出ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ六分ノ一乃至二分ノ一ヲ補助スルモノトス

第九條 行政官廳ニ於テ必要ト認ムルトキハ其ノ指定シタル醫師ヲシテ癩又ハ其ノ疑アル患者ノ檢診ヲ行ハシムルコトヲ得

癩ト診斷セラレタル者又ハ其ノ扶養義務者ハ行政官廳ノ指定シタル醫師ノ檢診ヲ求ムルコトヲ得

行政官廳ノ指定シタル醫師ノ診斷ニ不服アル患者又ハ其ノ扶養義務者ハ命令ノ定ムル所ニ從ヒ更ニ檢診ヲ求ムルコトヲ得

第十條 醫師第一條ノ届出ヲ爲サス又ハ虛偽ノ届出ヲ爲シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十一條 第二條ニ違反シタル者ハ二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十二條 行旅死亡人ノ取扱ヲ受クル者ヲ除クノ外行政官廳ニ於テ救護中死亡シタル癩患者ノ死體又ハ遺留物件ノ取扱ニ關スル規定ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

（政府委員吉原三郎君登壇）

○政府委員（吉原三郎君） 此癩病ハ近世ノ學說ニ於キマシテ、一ツノ傳染病ト云フ

コトニ定マリマシタヤデアリマスルガ、其經過ト云フモノガ甚ダ緩慢デアリマスルガタメニ、世人ノ注目ヲ惹キマスルコトガ、虎列刺病トカ、或ハ「ベスト」ノ如キニ至リマセヌ、併ナガラ直接ノ接觸、或ハ病毒ニ汚染シタル物品ノ媒介等ニ依リマシテ、他ニ傳染スルノ虞アルト云フコトハ、疑ナイコトデアラウト考ヘマスルガ、我國ニ於キマシテハ、此類患者ト云フモノガ、或ハ神社佛閣或ハ公園等ニ徘徊致シマシテ、其病毒ヲ傳播スルノ虞ガアルノミナラズ、又一方ニ於キマシテハ、隨分是等ノ患者ガ、群衆ノ目ニ觸レマス所ニ徘徊致シテ居リマスルハ、外觀上餘程厭フベキコトデアラウト思ヒマスルデ、是等ノ取締ヲ爲スコトガ、必要ナリト考ヘマスルデアリマスル、サウ致シマシテ救護者モナク、又自ラ治療ノ方法モ有セザル者ハ、一定ノ收容所ニ之ヲ集メマシテ、公費ヲ以テ治療ヲ爲シ、且其病毒ヲ傳播ヲ防グト云フコトガ必要デアルト考ヘマス、又自ラ治療ノ方法ヲ有スル、或ハ又救護者ノアリマス者ニ對シマシテモ、其病者ノアルトキ、或ハ死亡致シマシタキニ、其病毒ヲ豫防致シマスルコトヲ施設ヲ爲スコトガ必要ナリト考ヘマシテ、本案ヲ提出致シマシタ理由デゴザイマスルガ、此件ニ付キマシテハ、既ニ本院ヨリ再三建議モゴザイマスルシ、又前年ニ於キマシテハ、既ニ本院ヨリ法案ヲ御提出モアッタヤウナ次第デゴザイマスルシ、今日必要ナルトコロノ法案ト考ヘマスルデア宜シク御審議ノ上御協賛アラント希望致シマス

○副議長(箕浦勝人君) 日程第四、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第四 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○長谷場純孝君 此議案ヲ審查スベキ特別委員ハ、議長ノ指名トシテ、九名ヲ選舉サレシコトヲ希望シマス

○副議長(箕浦勝人君) 長谷場君ノ動議、九名ノ委員、議長指名ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メマス、其通り決シマス——日程第五、鐵道敷設法中改正法律案第一讀會、議案期讀

第五 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出)

〔書記朗讀〕

第一讀會

鐵道敷設法中改正法律案

鐵道敷設法中左ノ通改正ス

第二條第一項中山陽線ノ部第二號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 岡山縣下岡山ヨリ宇野ニ至ル鐵道

第七條第一項第五號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 羽越及岩越豫定線ノ内新潟縣下新津ヨリ福島縣下若松ヲ經テ白河本宮近傍ニ至ル鐵道中新潟縣下新津ヨリ福島縣下喜多方ニ至ル鐵道

同項第七號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一 山陽豫定線ノ内岡山縣下岡山ヨリ宇野ニ至ル鐵道

〔遞信大臣山縣伊三郎君登壇〕

○遞信大臣(山縣伊三郎君) 此鐵道敷設法ノ改正ハ、御承知ノ通り昨年末ニ於テ、山陽鐵道及岩城鐵道ヲ買収シタタメニ、此必要ヲ生ジタル次第デゴザイマス、宜シク御協賛アラント希望シマス

○副議長(箕浦勝人君) 議事日程第六、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

第六 右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉

○長谷場純孝君 此法案ヲ審查スベキ特別委員ハ、前ニ鐵道計畫速成改善ニ關スル建議案ガ委員ニ付託サレテ居リマス、此同一委員ニ付託センコトヲ望ミマス

○副議長(箕浦勝人君) 長谷場君ノ動議、前ノ鐵道計畫速成改善ニ關スル建議案ノ委員ニ付託シタイト云フ、之ニ御異議アリマセヌカ

〔贊成ト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ其通り決シマス、日程第七、郵便法中改正法律案、第一讀會ノ續、委員長報告、多田作兵衛君

第七 郵便法中改正法律案(政府提出)

〔多田作兵衛君登壇〕

○多田作兵衛君 私人委員長トシテ、郵便法中改正法律案ノ委員會ノ結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ本院ニ於キマシテ可決スベキモノト決シマシタ、贊成致シマシタ理由ヲ極ク簡單ニ述ベテ置キマス、本案第一ノ改正ハ、現今ノ法ニ依リマス、店ノ引札或ハ會社ノ案内狀、其他通信ニ屬シマスルモノハ、封書ニ致シマセヌデモ、ヤハリ三錢ノ料金ヲ徴收致シマスノデゴザイマス、此改正ニ依リマス、只今申シタル如キ通信文ニ屬スルモノ、店ノ引札、或ハ會社ノ案内狀、又吾等ガ報道書ヲ配付スルモノ云フガ如キモノニ付イテハ、印刷ニ付シテアレバ——印刷ノ物デアレバ、料金ヲ低減致スト云フ事柄デゴザイマス、ツレカラ第二ノ新聞雜誌等、一號一箇三十文以下ハ五厘、以上端數毎ニ五厘、又二號及ハ二箇以上ノ物ハ、一東ニスレバ一錢ト、斯ウ云フヤウニ現行法ハナッテ居リマス、此節デハ之ヲ簡易ニ致シマシテ、ヤハリ一號一箇二十文五厘、端數毎ニ五厘ト申シマセウニ、一箇トカ二箇トカ云フモノヲ致シマセヌ、一體ニ新聞、雜誌等ハ、斤目ニ依テ料金ヲ徴收スルト云フ簡便ナ法ニナルノデゴザイマス、ツレカラ第三ハ繪葉書、此繪葉書ハ御承知ノ通り繪ガ描イテゴザイマス、通信文ヲ書ク所ガ少ナイノデゴザイマス、繪葉書ニ限テ幾分ニ通信文ヲ書イテモ宜シイト云フコトヲ許スト云フ事柄デゴザイマス、ツレカラ第四ハ現行ノ小包デゴザイマス、皆書留ニナッテ居ルノデゴザイマス、ツレカラ第五ハ書留ノ通常ト一種類ニ致シマシテ、通常デゴザイマス、極ク此節ハ料金ヲ廉ウスルノテデゴザイマス、ツレカラ第六ハ書留ノ方ハ現今ノ料金ヨリ少シ高ク致シマシテ、而シテ政府ガ書留ニ對シテハ辨償ノ責ヲ負ヒマス、ツレカラ第七ハ額ヲ増シマシテ、責任ヲ重ク致シマシテ云フコトヲ改正デゴザイマス、ツレカラ第八ハ代金引換ノ郵便物ヲ代金ト引換ヘズニ物品ヲ渡シタラバ、政府ノ過ガアルトキハ其實ニ任シ、即チ辨償ヲスルコトヲ事柄デゴザイマス、大略今申シマシタモノ、改正デゴザイマシテ、是等ノ事柄ハ一般公衆ニ便利ヲ與ヘマス至極適當ノ改正ト認メマシテ、贊成ヲ致シマシタ譯デゴザイマス、ドウカ本日直チニ可決確定セラレ、コトヲ希ヒマス

○副議長(箕浦勝人君) 採決致シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メマス

○恆松隆慶君 直ニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○副議長(箕浦勝人君) 恆松君ノ動議、直チニ二讀會ヲ開クコトニ御異議ガアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メマス、其通り決シマス、直チニ二讀會ヲ開キマス

○恒松隆慶君 此案ハ最モ公衆ニ便利デゴザイマスカラシテ、讀會ノ順序ヲ略シテ二讀會ニ於テ確定セラレシコトヲ望ミマス

○副議長(箕浦勝人君) 恒松君ノ動議、讀會ヲ省略シテ、二讀會ニ於テ確定シタイト云フ、之ニ御異議ハアリマセヌカ

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メマス、全部ヲ讀會ニ供シマス、委員長報告通り御異議ハアリマセヌカ

郵便法中改正法律案

確定議

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ其通り確定致シマス、日程第八、東京府北多摩郡埼玉縣北足立郡境界變更法律案第一讀會ノ續、委員長報告——山口小一君

第八

東京府北多摩郡、埼玉縣北足立郡境界變更法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔山口小一君登壇〕

○山口小一君 本案ノ委員會ノ結果ヲ報告致シマスガ、本案ハ滿場一致ヲ以テ原案ノ通り可決致シマシタ

○副議長(箕浦勝人君) 採決致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メマス

○恒松隆慶君 直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ノ順序ヲ略シテ、確定セラレシコトヲ望ミマス

○副議長(箕浦勝人君) 恒松君ノ動議、直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ノ順序ヲ略シテ確定シタイト云フ、之ニ御異議ハアリマセヌカ

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メマス、其通り決シマス、直ニ二讀會ヲ開キ全部ヲ讀會ニ供シマス、本案ニ御異議アリマセヌカ

東京府北多摩郡埼玉縣北足立郡境界變更法律案

確定議

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ、委員長報告通り確定致シマス、日程第九、樺太廳特別會計法案第一讀會ノ續、委員長報告——横田虎彦君

第九 樺太廳特別會計法案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔横田虎彦君登壇〕

○横田虎彦君 本案ハ今日マデ軍政ノ下ニアリマシタコトヲ樺太島ノ總テノ行政ヲ内務省ノ管轄ニ移サレシニ付キマシテ、將來樺太ノ經營上ニ於キマシテハ、極メテ必要デアリ、且又適當ナル法案デアルト云フ理由ニ依リマシテ、委員會ハ一人ノ異議ナク全部採用スルコトニ可決ヲ致シマシタ、此特別會計法ニ依リマシテ本年即チ四十年度ニ

於テ計上シテアルトコロノ金額ハ、經常部ガ七千六万四千圓、臨時部ガ六十二万九千四百六圓、ソレカラ支出ノ方ガ、經常部ガ六十六万四千圓、臨時部ガ七十二万九千四百六圓ノ金高ニ相成テ居リマス、經常部ニ於キマシテハ今日雖モ稍、樺太ノ收入ヲ以テ樺太ノ經費ニ充テルト云フ方針ヲ取ツテ居ルノデアリマス、將來ハ種々ナル調査ノ上ニ極メテ此特別會計ノ有望ナルコトヲ委員會ニ於テハ認メタデゴザイマス、因テ此案ニ付キマシテモ極メテ簡單ナルモノデゴザイマスカラ、一字一句ノ修正ヲセズ、全部可決致シタイ次第デゴザイマスカラ、左様御了承ヲ願ヒタイ

○副議長(箕浦勝人君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○恒松隆慶君 本案ハ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ノ順序ヲ略シテ、確定セラレシコトヲ望ミマス

〔進行博士ノ言ノ如シ〕ト呼フ者アリ

○副議長(箕浦勝人君) 恒松君ノ動議、直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ノ順序ヲ略シテ確定シタイト云フ、之ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メマス、其通り決シマス、直チニ二讀會ヲ開キ全部ヲ讀會ニ供シマス、本案ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ、委員長報告通り確定致シマス、日程第十、樺太地方裁判所及同管内二區裁判所設置ニ關スル法律案第一讀會ノ續、委員長報告——遠山正和君

第十

樺太地方裁判所及同管内二區裁判所設置ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

〔遠山正和君登壇〕

○遠山正和君 本案ニ付イテ委員會ノ結果ヲ報告致シマス、本案ハ樺太ニ普通ノ裁判所ヲ置クコト云フ案デゴザイマス、樺太ハ我日本ノ版圖ニ入リマシテカラ、軍政ヲ置イテ軍政ノ下ニ刑事ノ裁判ヲシ、民政法院ニ於テ民事ノ裁判ヲシテ、特別ノ方ノ處分ヲ致シテ居リマシタガ、本年ノ四月一日ヨリ軍政ヲ撤去致シマスルニ付キマシテ、行政ニ伴ヒマストコロノ司法機關、即チ裁判所ヲ設置スルト云フコトハ最モ必要ナ案ト認メマシテ、委員會ハ滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告致シマス

○副議長(箕浦勝人君) 採決ヲ致シマス、本案ノ二讀會ヲ開クコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メマス

○恒松隆慶君 是モ直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ヲ略シテ、確定セラレシコトヲ望ミマス

○副議長(箕浦勝人君) 恒松君ノ動議、直ニ二讀會ヲ開キ、讀會ノ順序ヲ略シテ確定シタイト云フ、之ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ其通決シマス、直ニ二讀會ヲ開キ全部ヲ議題ニ供シマス、本案ニ御異議アリマセヌカ

樺太地方裁判所及同管内ニ區裁判所設置ニ關スル法律案 確定議

(異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メ委員長報告通確定致シマス、日程第一、會計法中改正法律案第一讀會、議案期讀

第十一 會計法中改正法律案(森本駿君外二名提出) 第一讀會

(書記朗讀)

會計法中改正法律案

會計法中左ノ通改正ス

第八條 豫備金ノ支出アルトキハ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムルヲ要ス

第十二條 第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

國務大臣ハ憲法第七十條ノ場合ヲ除クノ外豫備費ノ定額以外ニ豫算超過又ハ豫算外ノ支出ヲ爲スコトヲ得ス

附則

本法ハ明治四十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

(森本駿君登壇)

○森本駿君 諸君、本案ハ我衆議院ノ宿題デアリマシテ、既ニ二十一議會、及二十二議會ノ兩會期ニ於テ、我衆議院ハ滿場一致ヲ以テ此案ハ通過シテ居ルデアリマス、然ルニ不幸ニシテ此案ガ貴族院ニ回附セラレタル後、兩回トモ此案ガ貴族院ノ容ルルコトナラズシテ、法律ニ成立スルコトヲ得ズニ今日ニ至リテ居ル次第デアリマス、故ニ三度本案ニ付イテ本院ノ議ヲ煩ハスノ已ムヲ得ザルコトニ立至リマシタ次第デアリマスルカラ、諄ク此案ノ説明ヲスルヲ要セズ、唯法文ヲ御一讀ヲ願ヒマシタラバ、改正ノ趣旨ノアル所ヲ明カニスルコトガ、出來ルト信ジテ居ルデアリマス、唯第八條ニ於テ本年度經過後帝國議會ニ提出シ其ノ承諾ヲ求ムルヲ要スルコト云フ現行法ヲ一次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出シ其承諾ヲ求ムルコト云フコトニ改メニ付イテ大ニ不便トシテ、反對ノ意見トナリテ居ルコトノ箇條ハ、斯ノ如クスルコトニハ一年度ノ中ニ、豫備金ノ支出ヲ二ツニ別ツテ承諾ヲ求ムルコト云フヤウナコトヲスルコトガ、最モ不便ヲ感ズルコトコロデアルト云フニ歸著シテ居ル信ジテ居ルデアリマス、ケレドモ是ハ二ツニ別レテ承諾ヲ求ムルコトナレバナラズト云フヤウナコトノ必要ヲ生ジタスルナラバ、一ツニ別ケテ承諾ヲ求ムルモ毫毛差支ハナシト信ジマス、唯一ツノ事業ニシテ其豫備金支出ヲシタ金額ノ幾分ヲ、既ニ支出シタル後不幸ニシテ承諾ヲ受ケルト、其事業ヲ進行スルコトガ出來ヌト云フ不便ガアルト云フ、爰ニ一ツノ不便ガアルデアル、併ナガラ會計法ト云フモノハ、取締ニ屬スルモノデアラカラシテ、其支出ヲ不當ト認メラレテ、不承諾ヲ受ケナレバナラズト云フ支出ナラバ、其一承諾ニ付イテハ隨分不便ハ、不便デアルケレドモ、其不便ヲ犧牲トシテ以テ將來ノ各省ノ不當支出ナカラントヲ警戒スルニハ、是ダケノ犧牲ヲシテモ差支ハナイト私ハ信ジマス、併ナガラ豫備金ヲ支出スル場合ニハ、ソレ程不承諾ヲ恐ルベキ筈ハ當局者ニナカラウト信ジマス、當局者ハ不承諾ヲセラル、ヤウナ支出ヲセヌヤウニ氣ヲ附ケテ、サウシテ承諾ヲ求ムルコトニハ、決シテ斯ル不便ハナイデアリマスカラシテ、八條ヲ改正シテ少シモ實際ノ運用ニ妨ゲナイコト、信ジテ、是非是ノ宿題デ我衆議院ニ於テ決定セラ

レタル通賛成アラントヲ希望致シマス、ソレカラ「第十二條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ」ト云フハ「國務大臣ハ憲法第七十條ノ場合ヲ除クノ外豫備費ノ定額以外ニ豫算超過又ハ豫算外ノ支出ヲ爲スコトヲ得ス」ト云フデスガ、此點ニ於テモ豫備費ト云フモノヲ使ヒ拂フテシマフト、剩餘金ヲ支出シ來テ居ル例デアルケレドモ、七十條ノ場合ヲ除クノ外ハ剩餘金支出ヲ認メナイヤウニ、法律ノ不備ヲ補フト云フ精神デ、改正ヲ提出シタル所以デアリマス、若シ豫備金ガ不足シタトキハ、奈何トモ致方ガナイト云フ議論モアリマシタケレドモ、此點ニ於テハ實際必要デアラカラバ、豫備費ノ増額ヲ請求シテ、相當ノ豫備費ヲ置タナラ宜カラウト思ヒマス、殊ニ今日ノ豫算ハ、戰爭前ノ豫算ト違ヒマシテ、四十年年度ノ豫算ニ照シマシテモ、六億以上ノ歳出ヲ要スルコト云フヤウナ巨額ナ豫算デアッデ見ルト、從前ノ通ニ僅カニ三百萬圓ノ豫備費デ事ガ足リルト云フコトハ、思ヒ當ルコトガ出來ヌデアリマス、故ニ私ハ豫算委員會ニ於テモ、豫備費三百萬圓デ十分豫備費ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルコト云フコトノ質問ヲ提出シマシタ場合ニ、當局者ハ十分其目的ニ足ルト云フコトヲ明言スルコトハ難イ、併ナガラ戰時中百萬圓減シタノデアルケレドモ、戰爭前ノ例ニ倣ッテ、取敢ヘズ三百萬圓置イタニ過ギナイト云フコトヲ言ハレテ、三百萬圓ノ豫備費ヲ以テ、十分豫備費ノ目的ヲ達スルニ足ルヤ否ヤ明言シ雖イトマデ、當局者自ラ言ハレテ居タルデアラカラ、固ヨリ六億以上ノ歳出ニ對シテ、三百萬圓ノ豫備費ハ不足ヲ告ゲルハ承知シテ居ルカラ、豫備費ハ必要ナラバ、千萬圓内外マデノ増額ヲ要求セラル、モ、衆議院ハ此金額ヲ認ムルニ躊躇シナイデアラカラ、豫備費以外ニ剩餘金ノ支出ト云フヤウナコトハ、ナサナイヤウニ注意シテ貫ヒタイト云フ希望ダケデハ、其事ガ行ハレマセヌカラ、會計法ニ於テ規定ヲ設ケテ取締ヲ嚴ニスルコト云フ精神デ、此改正ヲ爲ス所以デアリマス、然ルニ今豫備費ヲ増額スル必要アリト認ムルナラバ、如何ニスルカト云フト四十年年度ノ豫算ハ既ニ衆議院ヲ通過シテ、今ヤ將ニ貴族院ニ於テ審査中デアルコトニ、直ニ四十年年度ノ豫算ニ對シテ豫備費ノ増額ヲ爲スノハ、困難ヲ感ズル所以デアラカラ、此會計法、改正ノ施行期限ヲ四十一年度ノ始メカラシテ行フト云フコトニシタル所以デアリマシテ、四十年年度ハ現在ノ儘デ、四十一年度ノ始メ即チ四十一年四月一日ヨリ施行セラル、コトニナレバ、他日四十一年度ノ豫算ヲ編成セラルトキニ、此會計法ノ精神ヲ推シテ、サウシテ豫備費増額ヲ要求セラルト云フコトニスレバ、實際ノ運用ニ少シモ差支ナカラウト信ジテ、此附則ヲ付ケタル所以デアリマス、是ニ於テ私ハ希望ヲ述べナレバナラヌデス、大藏大臣ハ衆議院ノ議決ニ重キヲ置カル、ト云フコトハ、實ニ私ハ尤ノ次第デアルト思フト同時ニ、今年ノ豫算提出演說ニ於テ、當局者ハ會テ繼續費年割額廢止ノ案ヲ立テ、豫算ノ協賛ヲ求メタコトガ一回アツタケレドモ、衆議院ハ其都度繼續費ノ年割額廢止ヲ認メラレナカッタデアラカラシテ、二回マデ此案ヲ衆議院ガ認メラレナカッタ以上ハ、此議決ニ重キヲ置イテ、四十年年度豫算ニハ年割額ヲ存置スル方針ヲ以テ、豫算ノ編成ヲシタルデアルト云フコトヲ、豫算提出演說ニ明言セラレテ、衆議院ノ議決ニ重キヲ置クト云フ精神ヲ表明セラレタト云フコトハ、私ハ大藏大臣ノ其言ヲ誠ニ諒スルデアリマス、此精神ヲ推シマストキニハ會計法ノ改正ハ、既ニ一回我衆議院ハ滿場一致ヲ以テ通過シテ居ルデアラカラシテ、ヤハリ衆議院ノ議決ニ重キヲ置カル、ト云フ精神ヲ推シテ、此會計法改正ノ二回目ノ通過ヲシタルナラバ、大藏大臣モ同意セラル、ノハ、德義上ノ責任デアラウト云フコトヲ希望シテ置キマス、ソレカラ第二ニハ貴族院ハ二回衆議院ガ議決シタルニ拘ラズ、一回共此會計法ノ改正ヲ否決セラレタルデアルケレドモ、衆議院ノ議決ハ二回共此案ヲ滿場一致ヲ通過シ、更ニ又第三回ノ提出ヲ見テ、他日此案ガ通過シタルナラバ、貴族院ニ三回目ニ回附セラレルト云フコトニ至ッデハ、貴族院ニ於テモ衆議院ノ意ノアル所ヲ察セラレテ、

今回コソハ會計法ノ改正ヲ實地ニ行ハレルヤウニナル途ヲ執ラレ、デアラウト云フ、貴族院ノ方ノ德義心ヲ希望スル所以デアリマス、此事ハ特ニ一黨派ノ問題ニアラズ、帝國ノ會計取締ニ最モ重大ナル關係ヲ持ッテ居リマシテ、一回マデ衆議院ガ滿場一致テ通過シ、二回又之ヲ通過シテ、貴族院ニ之ヲ回付シタ時分ニ、三回共貴族院ガ之ヲ否決スルヤウナル結果ヲ見ルトキニハ、衆議院對貴族院ノ關係上ニ重大ナル影響ヲ及ボスト云フコトヲ恐レルノデアリマスカラシテ、豫メ貴族院ニ付イテ最モ慎重ニ此案ヲ通過討議セラレテ、サウシテ會計法改正ノ目的ヲ此會期ニ於テ、解決セラレンコトヲ切ニ希望スル、豫メ其希望ヲ述ベテ、又滿場諸君ニ訴フルニ前例ノ如ク、此會計法改正案ハ御審査ノ上、滿場一致ノ御決議デ、御可決セラレンコトヲ切ニ希望致シマス

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員(若槻禮次郎君) 本案ハ唯今提出者ガ、御述ベニナル如ク、數回議場ニ現ハレタ問題デアリマシテ、又其度毎ニ政府デハドウモ御同意ガ出來兼ネルコトヲ述ベテ居ル問題デアリマス、再ビハ繰返シハシマセヌガ、不幸ニシテ、ヤハリ政府ハ前議ヲ執ッテ居ルト云フコトヲ茲ニ明言シテ置キマス

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員、議長指名アランコトヲ望ミマス

○副議長(箕浦勝人君) 恆松君ノ動議、議長指名九名ノ委員ニ付託スルニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ、其通リ致シマス——日程第十二、衆議院議員選舉法中改正法律案第一讀會、議案朗讀——江藤哲藏君

第十二 衆議院議員選舉法中改正法律案(森本駿君 外二名提出) 第一讀會

(書記朗讀)

衆議院議員選舉法中改正法律案
衆議院議員選舉法別表中左ノ通改正ス

江藤哲藏君登壇

○江藤哲藏君 本案ハ只今朗讀セラレタ通り、極メテ簡單ナモノデアリマス、選舉法ノ別表中ノ沖繩縣ノ部デス、那覇區、首里區、島尻區、中頭郡、國頭郡、二人、斯ウアルノヲ單ニ沖繩縣ニ人ト改正スルト云フコトデアリマス、此沖繩縣ハ御承知ノ通マダ議員ノ選舉ハ行ハレテ居ラナイノデアデ、同縣デハ勅令ヲ以テ別ニ施行ノ日ヲ定メルト云フコトニナッテ居ル、所ガ此衆議院選舉法ノ別表ノ定ムルトコロニ據レバ、沖繩縣ノ中、二區、五郡中、二區三郡デハ選舉權ヲ有シテ居デ、宮古、八重山、兩郡ニ於テハ選舉權ヲ付與シテナイノデス、處ガ宮古、八重山兩郡ト云フノハ、ヤハリ他ノ二區、三郡ト同様ニ一般ノ租稅ノ負擔ヲ爲シテ居ルノミナラス、此明治三十一年ニハ徵兵令ヲ施行セラレマシテ、ヤハリ他ノ三郡、二區並ニ他府縣同様ノ住民ノ如ク兵役ノ義務ヲ負擔シ、血稅ヲ拂ッテ居ルノデス、斯ノ如ク兵役ノ義務ニ服シ、又納稅ノ負擔ヲシテ居ルノミナラス、文化ノ度ニ於テモ他ノ一區、二郡ト少シモ異ナルコロモナイ、普通教育モ能ク完備シ、普及シテ居ル、如何ナル點カラ言テモ宮古、八重山、兩郡ヲ除外シテ選舉權ヲ付與シナイト云フコトハ、是ハ甚シク法ノ不備缺點ト申スノ外ハナイ、之ヲ改正シテ沖繩全縣即チ宮古、八重山、兩郡モ選舉法別表中ニ加ヘテ、等シク選舉權ヲ付與シテ、此法ノ不備缺點ヲ補ヒ、且公平ニ復シシメタイト云フ精神ニ外ナラヌデアリマス、サウシテ此改正案ハ昨年ノ議會ニ於テモ、衆議院ニ於テハ、ヤハリ通過致シマシ

テ其通過シタノガ、最終ノ日デアッタガタメニ貴族院ニ於テ、之ヲ會議ニ附スルノ餘暇ガナカッタト云フデアリマスカラシテ、ドウカ委員ニ附託セラレテ、御調査ノ上御贊同アランコトヲ希望致シマス

○恆松隆慶君 本案ハ曩ニ島田君外二名カラ提出セラレタ衆議院議員選舉法改正案ニ付、アッタデアリマス、アノ委員ニ付託セラレンコトヲ望ミマス

○副議長(箕浦勝人君) 恆松君ノ動議、曩ニ選定セラレタコロノ衆議院議員選舉法中改正法律案ノ特別委員ニ付託スルト云フコトニ、御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ其通決シマス、日程第十三、煙草專賣法中改正法律案第一讀會、議案朗讀

第十三 煙草專賣法中改正法律案(森本駿君外五名提出) 第一讀會

(書記朗讀)

煙草專賣法中改正法律案

第七十五條第一項ノ次ヘ左ノ一項ヲ加フ

明治三十六年一月三十一日以前ヨリ明治三十八年三月三十一日迄其ノ營業ヲ繼續シタル葉煙草賣買業者又ハ商標ヲ有スル製造煙草ノ全國一手販賣業者ニ對シ政府ハ其ノ請求ニ依リ葉煙草又ハ製造煙草ノ賣渡代金ノ一割ニ相當スル金額ヲ交付シ其ノ金額三百圓ニ滿タサル者ニ對シテハ金三百圓ヲ交付ス

同條第四項中「第一項」ノ下ニ「及第二項」ヲ加フ

第七十六條中「第七十五條第一項」ノ下ニ「及第二項」ヲ加フ

第七十九條第四項ニ左ノ但書ヲ加フ

但シ第七十五條第二項ニ依リ交付スル國庫債券ニ限リ發行ノ年ヨリ十箇年以内ニ之ヲ償還ス

(森本駿君登壇)

○森本駿君 諸君、本案ハ宿題ニナッテ居ル問題デアデ、法律案トシテハ當議會ニ於テ始メテ提出セラレルデアリマス、ソレハ煙草專賣法ノ中ニ製造業者ニ對シテハ、交付金ヲ下附セラレタデアリケレドモ、葉煙草賣買業者又ハ商標ヲ有スル製造煙草ノ全國一手販賣ヲ爲シテ居ル者ニ對シテ、交付金ヲ渡スト云フコトノ制度ガ漏レテ居タノデアリマスカラシテ、此事ニ付イテハ煙草專賣法ノ討議中ニモ問題ニナッタコトモアリ、其以後連年請願ガ出デマシテ、請願委員會ハ通過シタデアリケレドモ、不幸ニシテ本院ニ於テ通過ヲ見ルコトガ出來ズ、今日ニ至ッテ居ル問題デアリマス、處ガ此製造業者以外ニ於テ煙草賣買業者トシテ商標ヲ專用シテ居ルコロノ者トカ、交付金ヲ貰ハレナカッタト云フ結果、非常ナル困難ヲ來シテ居ルコトヲ言フコトノ事情ハ、諒スルニ足ルモノガアリマスデアリカラシテ、之ガ救済ノ途ヲ執ルト云フノハ、法律改正ノ途ヲ執ルヨリ外ナイト云フコトニナリマシタノ、此法律改正ト云フ案ヲ出スノ已ムヲ得ザルニ至ッタデアリマス、(反對ト呼フ者アリ)唯此事タルヤ、製造業同様ニ交付金ヲ貰フト云フノデナクシテ、以テ製造業者ノ半額ニ相當スル交付金ヲ渡シ、五百圓ノモノハ五百圓トシ、五百圓ニ滿タザルモノモ五百圓ヲ給スルト云フ、製造業者ノ交付金ヲ改メマシテ、サウシテ二百圓ニ滿タザルモノニ對シテハ、二百圓ヲ給スルト云フコトニシテ、二百圓ヲ減ジタデアリマス、ソレカラシテ後ト條項ハ之ニ連帶シテ來ルト云フトコロノ改正デアリマシテ、詰リ交付金ヲ

與ヘルニ付イテノ國庫債券ヲ渡スト云フ條件等ガ、第一項ト云フコトハ七十五條ノ製造業者ニ與ヘルコトノ規定ヲ示シテ、ソレカラ今度第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フトシテ、唯今期讀ニナラズ法文ヲ加フルコトニナラズアルカラシテ、此改正ガ行ハレタナラバ、此ニアルコトノ法文ガ七十五條第二項ト云フコトニナルノアルカラシテ、ソレデ七十五條中ノ第四項ノ中「第一項」ト云フ文字ガアル、其下ニ箇條ヲ加ヘル必要ヲ感シテ「及第二項」トシテ、七十六條ニ於テ第二項ノ箇條ヲ加ヘル積リテ、此改正ヲ要シマス所以デアリマス、ソレカラ八十九條ノ第四項ニ左ノ但書ヲ加フト云フコトハ「但シ第七十五條第二項ニ依リ交付スル國庫債券ニ限リ發行ノ年ヨリ十箇年以内ニテ之ヲ償還ス」トシタルデアリマス、從來製造業者ニ與ヘルコトノコト、交付金トシテ給與セラレタ國庫債券ハ七箇年ニ償還スルコト云フコトニナラズ居リマスケレドモ、國庫ノ都合ヲ考ヘマシテ、七箇年ニ償還スルヨリカ、十箇年以内ニ償還スルコト云フコトニシタ方ガ便利デアラウト信ジテ、此度與ヘルコトノ國庫債券ニ限リ發行ノ年ヨリ十箇年以内ニ償還スルコト云フ箇條ヲ設ケタノニ過ギナイデアリマス、斯ウ云フ精神デ改正シタルデアリマスカラシテ、何卒委員會ニ於テ御審査ノ上此改正ノ目的ノ達セラレコトヲ切ニ希望致シマス

○久保伊一郎君　チヨット提出者ニ質問ガアリマス、提出者ハ此法案ニ對シテハ何程金額ヲ要スル見込デアルカ、ソレカラ尙序デニ政府ノ意見ハドウ云フ意見デアルカ、聞イテ置キタイ

○森本駿君　政府ノ意見ハ政府ノ御問ヲ願ヒタウゴザイマス、此交付金ヲ付與スルト云フコトニナリマスナラバ、三百萬圓餘ノ金額ヲ要スルデアラウト存ジマス

（政府委員若槻禮次郎君登壇）

○政府委員（若槻禮次郎君）　御尋ガアリマセデモ、ドウセ意見ヲ言ハウト思フテ居リマス、丁度御尋ガゴザイマシタカラ申上ゲマス、此煙草專賣法ヲ拵ヘマシタトキニ其經過ノ問題トシテハ從來煙草ヲ製造シテ居ル者、竝ニ煙草ノ製造ニ關係ノアル業務ヲ營ンデ居ル者ニ對シテ、如何ナル處置スルカト云フコトハ、全般ニ涉テ調ベタルデアリマス、製造業者ノミ調ベタルデヤナイ、煙草ノ賣買業者モ、製品ノ販賣業者モ、又此ニ分ナル考慮ヲ加ヘテ法律ヲ提出シタルデアリマス、ソレ故ニ議會ニ於テモ其事ハ十分御說明ヲ申シ上ゲマシタ故ニ、議院ノ方デモ亦十分總テノ問題ニ互ニ御攻究ニナラテ、結局專賣法ノ規定ノ通ガ、最も相當ナリシテ御協賛ニナラテ次第デアアルデアリマス、其相當デアルト申上ゲルコトハ、煙草製造業者ト云フモノハ、是ハ製造事業ヲアルノデアリマスカラ、相當ナル熟練ト、知識ト云フモノガ要ルノデアアル、又製造場ヲ持ッテ製造業ヲ營ム以上ハ、十分固定資本等モ要ルノデアアテ、是ガ他ニ轉業スルト云フモノハ、チヨット容易ナラナイコトコガアル、ソレ故ニ是ニハ轉業ノ補償金ヲ與ヘンケレバナラナイ、併シ其他ノモノデハ煙草製造業者ホド轉業ニ困難ガナイ、故ニ是ハ國民ノ負擔ノ多イ場合ニ於テ、特ニ此交付金ヲ與ヘルニ及バズ、斯ウ云フコト此問題ハ唯一端ヲ捉マヘテ決定シタ問題デアナイ、全般ニ互ニ調査セラレタ上ニ、此處ニ出タルニハ交付金ヲアルニ及バズ、斯ウ云フコトニ極マツタルデアリマス、即チ此問題ハモウ二三年前ニ確定シタ既遂ノ事實デアアルデアリマス、ソレヲ唯今ニナラテ又更ニ交付金ヲ與ヘヤウ、國民ノ負擔ニ於テ多額ノ支出ヲシヤウト云フコトハ、之ハ政府ハ何處マデモ反對致スルデアリマス、殊ニ又此販賣業者マデモ交付金ヲ與ヘルコト云フコトハ、之ハ尤モ不可能ノコトデアラウト思フノデ、此法案ハ全然反對ヲ致スルデアリマス

○恆松隆慶君　本案ニ對シテハ政府ノ反對ガゴザイマシタケレドモ、免二角之ヲ委員ニ付託シテ十分調査スル必要ガアラウト思ヒマス、第二ノ日程ノ委員ニ之ヲ付託セラレン

官報號外　明治四十年二月十七日　衆議院議事速記第八號　萬國衛生會議萬國人口統計學會參列員派遣ニ關スル建議案

コトヲ望ミマス

○副議長（箕浦勝人君）　恆松隆慶君ノ日程第二ノ委員ニ付託スルコトニ御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナシト認メテ、其通決シマス——日程第十四萬國衛生會議ニ關スル建議案委員長報告、山根正次君

第十四　萬國衛生會議並萬國人口統計學會參列員派遣ニ關スル建議案（山根正次君提出）（委員長報告）

（山根正次君登壇）

○山根正次君　委員會ノ經過及結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ兩度開キマシテ、政府ヨリハ大藏次官、內務省ノ衛生局長、或ハ文部省ノ專門學務局長等出席ヲセラレマシテ、委員ノ質問ニ答ヘラレタルデアリマス、政府ノ方ノ側ニ於テモ大變テ贊成デアラウニ見受ケマシタ、且又大藏省ノ方デハ特ニ豫算ヲ求メテト云フコトナラバ、ソレヲ約束シテ贊成スルコトハ出來ナイ、ケレドモ或ハ豫備費ノ中カラ出セヌコトモアルマイト云フコトデアリマス、サウシテ之ニハ報告書ニアル通ニ修正ヲ少シ加ヘタルデアリマス、ソレハ何デアアルカト云フト、萬國衛生及「デモグラフィ」會議人口統計學會トカニフウヤナコトヲ省カレテ、サウシテ五名以上派遣スルト云フコトヲナクシタルデアリマス、サウスルト政府ノ方デ御便利デアアテ、或ハ十人以上上モ出セルカモ分リマセヌケレドモ、或ハ彼方ニ居ルトコロノ留學生マデニモ命ジテ往クヤウニモナルカ分ラヌト思ヒマス、却テ便利デアルト思ヒマシテ、滿場一致ヲ以テ贊成致シタルデアリマス、此必要ナル外國ノ派遣ニ付キマシテハ、ドウカ又此所ニ於テモ滿場一致ヲ以テ御贊成アラントホシ望致シマス

○副議長（箕浦勝人君）　採決ヲ致シマス、委員長報告通御異議ハアリマセヌカ

（「異議ナシ」ト呼フ者アリ）

○副議長（箕浦勝人君）　御異議ナシト認メテ、委員長報告通決シマス——日程第十五、地方裁判所支部全部復舊ニ關スル建議案、奧野市次郎君

第十五　地方裁判所支部全部復舊ニ關スル建議案（奧野市次郎君外四名提出）

地方裁判所支部全部復舊ニ關スル建議案

去ル明治三十六年以來裁判事務ノ取扱ヲ休止シタル地方裁判所支部ノ内明治四十年年度豫算案ニ其ノ復舊ノ經費ヲ計上セサル分ハ此ノ際速ニ復舊ノ計畫ヲ立テ之ニ要スル經費ハ明治四十年年度追加豫算トシテ本期議會ニ提案セラレムコトヲ望ム

右建議ス

（奧野市次郎君登壇）

○奧野市次郎君　此建議案ハ誠ニ簡明ナ建議案デアリマス、地方裁判所ノ支部ヲ全部復舊致シタイト云フ建議案デゴザイマシテ、本年度ノ豫算ニ於テ政府ハ幾分カ復舊ヲセラレタルデアリマスケレドモ、マダ全部復舊ガ見ダナイデアリマス、三十六年以來政府ハ時々此裁判事務ノ取扱ヲ急遽セラレマシタ箇所ガ三十餘箇所ニナラテ居リマスガ、本年度ノ豫算ニ復舊ヲ計上セラレマシタ分ハ其半バ位ニシカ過ギヌデアリマス、其殘サレタル十六箇所ハ是亦何レモ復舊ヲ人民ガ希望致シテ居ルデアリマシテ、戰後國運ノ發展ニ從テ經濟上其他ノ上ニ於テ、益々多ナラントスル今日ニ於テ、最も急要ヲ感ジテ居ル次第デアリマス、其費用モ今ノ煙草屋ニ金ヲアルト云フヤウナ莫大ナ費

用ヲ使ハズシテ、僅カナ金デ一般ノ國民ニ非常ナ大ナル便利ヲ與ヘルコトナリマスカラ、政府ニ於テモ國費多端ノ際デアリマスケレドモ、少シノ金ヲ投ジテ大ナル便利ヲ國民ノ全般ニ與ヘルコトデアリマスカラ、本期議會ニ追加豫算トモシテ此費用ヲ計上シテ提出セラレシコトヲ望ムト云フコトガ、本案提出ノ理由デアリマスカラ、ドウハ満場諸君ノ御同意ヲ得タイノデアリマス

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員、議長ノ指名アランコトヲ望ミマス
○副議長(箕浦勝人君) 恆松君ノ動議、九名ノ委員議長指名ニ御異議ハアリマセヌカ
○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メ其通決シマス、日程第十六、商科大學設立ニ關スル建議案

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メ其通決シマス、日程第十六、商科大學設立ニ關スル建議案

第十六 商科大學設立ニ關スル建議案(根本正君外六名提出)

(書記朗讀)

商科大學設立ニ關スル建議案

今や國家大發展ノ機運ニ際シ商業界ノ牛耳ヲ執ルニ足ルヘキ有爲ノ人物ヲ陶冶スルヲ以テ焦眉ノ急務ナリトス政府ハ宜ク商業ニ關シ必要ナル各種ノ科目ニ付最高等ノ教育ヲ授クヘキ機關ヲ設置シ此ノ急務ニ應スヘシ
右建議ス

(根本正君登壇)

○根本正君 商科大學設立ニ關スル建議案、極ク簡單デアリマスカラシテ、本文ヲ讀ミマセウ

今や國家大發展ノ機運ニ際シ商業界ノ牛耳ヲ執ルニ足ルヘキ有爲ノ人物ヲ陶冶スルヲ以テ焦眉ノ急務ナリトス政府ハ宜ク商業ニ關シ必要ナル各種ノ科目ニ付最高等ノ教育ヲ授クヘキ機關ヲ設置シ此ノ急務ニ應スヘシ

此商科大學デアリマスガ、是ハ今日最モ設立スル時期アルト云フコトヲ確認シマシテ提出サレタ建議デアリマス、此商業ノ世界デアリマス今日何レノ國モ商業ハ昔ト違テ甚ダ複雑ニナリタマヒマス、コレ故ニ詰リ是迄在來タコノ學問ノミデハ往カス、即チ其文明商業ノ發展ニ伴ヒマシテ、根本的ニ之ニ關スル研究及智識ト云フモノヲ有シナケレバナラヌコトデアリマス、コレ故ニ商科大學ト云フモノハ此商業ト云フモノノ中心トシテ、サウシテ別ニ商業大學ヲ編成スルト云フコトデアリマス、此商科大學ヲ設置スルト云フデ是迄アツタコノ高等商業學校ト云フモノヲ罷メルト云フ譯デアリマセヌ、是ハヤハリ是迄ノ通りニ工科大學ニ於ケル高等工業學校ガアルヤウニ置イテ、別ニ商科大學ヲ置クト云フデアリマス、此商科大學ハ昔ハ何レノ國ニモ餘リ多ク見エナカッタデアリマス、然レニ近來殊ニ英吉利ニ於キマシテハ非常ニ此事ニ注意サレテ、即チ英吉利ノ國ガ世界到ル所ニ自分ノ領分ガアルト云フモノ即チ此商科大學ト云フモノガアツテ、唯是迄ノ商業ノ仕方デナク、即チ原理ニ依リテサウシテ其世界ノ大勢ヲ通觀スルゲケノ人ヲ擧ヘルコトガ元トナリ居リマス、故ニ英吉利ニ於キマシテハ此商業上ノ智識ト云フモノガ特ニ能ク教育サレテ居リマス、(「パーミシガム」マンチエスター)「ナドニ」最モ盛大ナル商科大學ト云フモノガアリマス、獨リ英吉利ガ此ノ如ク盛シナルノミナラズ、近頃獨逸ト云フ國ガ非常ニ商業ガ盛シナリタマヒマス、此南亞米利加ニモ、又中央亞米利加ニモ、或ハ此塊地利邊ニモ近來ハ東洋ニ至ルマデ獨逸ガ盛シナリタマヒマス、獨逸ガ此ノ如ク世界ニ商業ヲ發達シテ來タト云フモノハ、ドウ云フ譯デアリカト云フナレバ、是亦英吉利ニ學ンデサウシテ此商科大學ト云フモノヲ殖シタ譯デアリマス、英吉利ノ商科大學ハ即チ一般

ノ大學ノ中ノ一ツノ分科ニナリ居リマスガ、獨逸ノ商科大學ハ特別ニ出來テ居ルトコロノデアリマス、デ一昨年マデハ獨逸デハ四ツアリマシタ商科大學ガ、昨年ノ十月ニ又一ツ殖ヤサレマシテ、實ニ此商業ノ發展ニ付イテハ非常ニ注意サレテ居ル譯デアリマス、此事ハ實ニ今日世界ノ問題ニナリ居リマシテ、既ニ塊地利ノ此外務大臣ノ何某ノ如キハ今日ハ最早此宗教ノ競爭トカ、或ハ其他此生存競爭ニ付イテ自由民權デアアル、或ハ平民主義デアアルトカ云フヤウナ時代ハ過去デ、最早今日ハ此商業ノ戰爭デアアル、之ニ勝テ者ハ其國ハ富ム、此商業ニ付イテ大ナル研究ヲセザル國ハ亡ブト云フマデ言テ居リマスガ、實ニ其通りデアリマス、今日獨逸ガ殆ド此歐羅巴ニ於テモ勢力ヲ占メテ居ルト云フモノハ、此商科大學ガ五ツアルト云フコトガ大ニ認メナケレバナラヌト云フコトデアリマス、故ニ我帝國ニ於キマシテモ其外ノ大學ハ出來テ居リマス、工科大學モアレバ、醫科大學モアル、理科モアレバ、文科モアルト云フヤウデアリマスガ、獨リ此商科大學ト云フモノガゴザイマセヌ、是ガ即チ今日ノ缺點、殊ニ戰後ノ經營ニ於キマシテハ何程物ヲ製シ、如何ニ研究ヲ以テ物ヲ拵ヘマシテモ、之ヲ商賣スルトコロノ人ガナケレバ即チ之ヲ適當ニ分配スルトハ出來ナイト云フヤウナコトナリ居リマス、故ニ何レノ點カラ考ヘマシテモ、此商科大學ト云フモノハ必要、殊ニ亞米利加ガ何故ニアノ通り盛シデアアルカト云フナレバ、即チ亞米利加ノ如キハ歐羅巴ヨリモ一層此商科大學ニ熱心デアツテ、何レノ大學ニモ此商科ノ大學分科ト云フモノガナイト云フコトハナイ譯ニナリ居リマス、伊太利ノ如キモ近來出來、又佛蘭西ノ如キ其他ノ國ニモ出來テ參タ、是ハ即チ世界ノ進ムニ從テ、此學科ト云フモノハナケレバナラヌト云フコトデアリマス、此商科大學ガ何故ニ此ノ如ク必要デアルカト云フナレバ、是迄アツタコロノ唯ノ高等商業學校ハ先ヅ簿記法デアルトカ、或ハ經濟學デアルトカ、其他イロ／＼教ヘマスケレドモ、其程度ガ低イ、其程度ガ低イ故ニ事業ヲ計畫スルナント云フヤウナ度量ヲ持ツコトガ出來ナイ、又同ジ簿記法デモ今日ニナツテハ、即チ只簿記ニスルノミナラズ、所謂此勘定ノ方法其他ニ付イテ學理ニ據テスルコトガ、大ニ歐米ニ於テ行ハレル、其邊ノ學科ト云フモノガ、我帝國ノ高等商業學校ニ於テハ缺ケテ居ル譯デアル、又缺ケテアラネバナラヌ、即チ商科大學ノナイ所以デアリマス、故ニ此商科大學ト云フモノヲ、ドウ云フ風ニシテ置カト云フナレバ、是ハ即チ是迄アル所ノ高等商業學校ハ、其儘ニシテ置イテ益、之ヲ盛シニシテ、今日アルコロノ高等商業學校ノ專攻部ト云フモノガアル、是ハ二箇年ノ科ニナリ居ル、又其高等商業學校ノ方ハ、豫備ガ一年ニ、本科ガ二年トナリ居リマスガ、此專攻部ト云フモノヲ、モウ少シ高メテ、サウシテ之ヲ以テ三年トシテ、之ヲ大學二年ト云フヤウナコトガ、最モ適當デアラウト思フ、故ニ高等工業學校ガアリ、工科大學ト云フモノガアル通ニ、此商科大學モ、ヤハリ高等學校ノ生徒ガ、之ニナルト云フヤウナ譯ニナラナケレバナラヌ、コレハ丁度ハ商科大學ニハ、是迄アツタコノ高等商業學校ト別物ニシテ、別ニ更ニ豫備ト云フモノヲ三年置イテ、其三年ト云フモノハ今日中學ヲ卒業シテ、サウシテ此高等學校ニ入ッテ、或ハ工科ナレバ船ノ學問ヲスルトカ、或ハ其他理學ヲスルト云フヤウナ鹽梅ニ、商科ノ大學ノ豫備ヲスル今日ノ有様デハ、普通ノ學問ガ足りナイ故ニ、十分ニ專攻ト云フモノヲ、本當ニ學ブコトガ出來ナイデアリマス、故ニ基礎ヲ改メ、今ノ商科ノ學問ト云フモノガ、基礎ガ宜シクナイ、假リニ專攻部ガ二箇年アリマシテモ、其二箇年デハ單ニ前ニアツタコロノ此高等商業學校ニ學ンデモ、復習スルヤウナ案排デ、例ヘバ經濟ヲ學ブニシテモ、法律ヲ學ブニシテモ、只嚙ツタ位デアツテ、本當ノ興味ニ入ルコトガ出來ナイト云フ割合ニナリ居リマス、殆ド時間ヲ費ヤシ、金ヲ費ヤシマシテモ、事業ヲ經營シ或ハ世界萬國ノ商業ノ事業ヲ通觀スルト云フヤウナ人ガ、出ラレナイト云フヤウナコトナリ居リマス、故ニ此商科大學ヲ拵ヘテ、他ノ學問ト同ジヤウニ、ヤハリ博士モ出來、學士モ出來、サウシテ今日此戰後經營ノ最モ大切ナル時機ニ應ジテ、海外ニ

對シテ我貿易利益盛ニスルト云フコトガ、最も必要ナルコトデアリマスカラ、ドウカ委員ニ御附託ニナデ議場一致ヲ以テ御決議アラシコトヲ望ミマス

○恆松隆慶君 本案ハ九名ノ委員、議長指名ヲ望ミマス

○副議長(箕浦勝人君) 恆松君ノ動議、九名ノ委員議長指名ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ガナイト認メマス、日程第十七ヨリ十九マデハ請願デアリマスカラ、併セテ委員長ヨリ報告ヲ望ミマス

第十七 (特別報告第一號) 鐵道速成ノ請願

第十八 (特別報告第二號) 鐵道速成ノ請願外

第十九 (特別報告第三號) 登記所復活ノ請願

〔橫井時雄君登壇〕

○橫井時雄君 請願委員會ノ特別報告第一號、第二號、第三號ヲ今日御報告申上

ゲマスガ、此第一號ト二號ハ事柄ガ殆ド同ジコトデアリマスカラ、一緒ニシテ御報告ヲ致シタイト思ヒマス、此一號、二號ノ報告ノ基コトコロハ、五ツノ請願ガ提出サレテアリマシテ其五ツノ請願ハ鐵道速成ノ請願、山形縣山形市旅籠町山形縣會議長池田成章、外二十八名、ツレカラ鐵道速成ノ請願ガ二ツ、山形縣西田川郡鶴岡町長林茂生上云フ人、越羽沿岸鐵道速成ノ請願、奥羽橫斷鐵道速成ノ請願、之ガ二ツ、山形縣東田川郡藤島村長加藤清成外二十七名、此五ツノ請願ノ趣意ハ少シシテ、或ハ單鐵道ノ終點ニテ居ル、複雜ニテ居ル處ガアリマス、重ナ件ハ新潟縣ノ新發田ヨリ、北越鐵道ノ終點ニテ居ル、新發田ヨリ酒田ヲ經テ秋田ニ至ル、彼ノ日本海ニ沿フテ、沿岸鐵道ヲ成ルベク早ク敷設シテ貫フヤウニシタイト云フコトデアリマシテ、秋田縣ノ酒田ヨリ新庄ヲ經テ、サウシテ太平洋ノ沿岸ニ出ルトコロ、陸羽橫斷鐵道ヲ敷設シテ貫ヒタイト云フコト、ソレト米澤ヨリ海岸ノ坂町ニ至ル鐵道ヲ敷設シテ貫ヒタイト云フコトデアリマス、請願委員會ノ審査ノ結果、陸羽橫斷鐵道ハ何レヨリ起リ、何レニ終ルト云フコトハ、政府ニ於テモ其計畫中ニアルヤウニ思ヒマスカラ、其起點、終點ハ示サズシテ成ルベク速ニ此鐵道ノ敷設サル、ヤウニ希望スル、此請願ノ趣意ハ極メテ穩當ノモノデアルト云フコトヲ認メテ、サウシテ本院ニ於テ採擇スルコトヲ希望スルト云フコトニナツタデアリマス、又彼ノ越羽縱貫鐵道トモ申シマセウカ、新發田カラ酒田ヲ經テ、秋田ニ至ル海岸線ハ此地方ハ御承知ノ通、冬ハ甚ダ海ガ荒ク、又夏ト雖モ良イ港灣モナク、從テ利源ハ甚ダ澤山ニアリマスケレドモ、此鐵道ノナイタメ、之ヲ開發スル便宜ガナイノデ、此國運發展ノ時ニ際シテ、斯ノ如キ廣闊ナル地方、又有爲ノ人物モ居ル地方ニ、其利源ヲ開ク途ヲ與ヘナイト云フコトハ、誠ニ遺憾ナコトデアリマスカラ、是モ政府ノ計畫ノアルコトデアリマスガ、成ルベク速ニ敷設セラルコトヲ希望スルト云フコトハ穩當ナコトデアルト認メタデアリマス、其外ノ事ハ參考トシテ政府ニ回スコトニ極メタデアリマス、本議院ニ御報告申スコトハ其一件デアリマス、ツレカラ第三號ハ文書表ニアルコトコロ、請願ノ第三十七號デアリマシテ、登記所復活ノ請願、是ハ長崎縣東彼杵郡千綿村、村長深江與外三名ノ呈出ニ係ルモノデアリマス、此彼杵郡ト申シマスルハ有名ナル佐世保カラ長崎ニ往クコトヲ途中ニアル郡デアリマシテ、此郡内ニ是マデ大村區裁判所、所屬ノ下ニ波佐見ト彼杵ノ兩村ニ出張所ガアル、即チ登記所ガアッタデアリマス、所ガ昨年カ一昨年ニシテ廢止シタデアル、請願ハ二ツトモ廢シハシタガ、川柳村ニ一ツノ登記所ヲ置イタト云フコトニナツテ居リマスガ、政府委員ノ辯明スルトコロニ依ルト、一方ヲ廢止シ、サウシテ一方ノ彼杵ノ方ハ移轉シタデアリマシテ、川柳ニ置イ

テアルト云フコトニナツテ居ラ、事實ハ同ジコトデアル、此兩所ノヲ一ツニシタト云フタメニ兩方ノ人民ガ非常ナ不便ヲ感ジ、サウシテ田地ノ賣買等ノタメニ登記ヲスルト云フトキニ多クノ費用ト、又日子ヲ費サザルヲ得ザル事情ニアルデアリマス、ドウカ之ヲ元ノヤウニ復活シテ貰ヒタイ、所ガ政府委員ノ辯明スルトコロニ依リマスル、一方ハ既ニモウ本年度ノ豫算二十四八箇所ヲ復活スルト云フ中ノ一ツニナツテ居リマスカラ、此請願ノ趣意ハ必ズ聽取ケラル、コトハ明カデアリマスガ、波佐見ノ方ニ至テハ種々ノ事情ガアル、其事情ト云フハ今ノ川柳ニ移スルコトキニ其地方ノ人民ヲイロノ、論シテ、サウシテ家ヤナシテ提供セシムルコト、何トカ云フコトガアツテチヨット共掛リノ裁判所ナドデハ又之ヲ元トノ所ヘ持ッテ行ッテ、折角其人民ガ便利ヲ得テ居ルヲ奪ッテシマフノ忍ビナイ事情モアルサウデアリマスノデ、其所ダケハ復活シナイ、波佐見ノ方ハ復活シナイト云フコトニナツテ居リマスガ、併シ政府委員ガ分科會ニ於テ辯明サレタルコロニ依リマスル、尙事情ヲ調査シテ而シテ移ス方ガ宜イト云フナラバ、少シノ情實ニ拘ハラズ川柳ヨリ波佐見村ニ移スト云フコトニシヤウト云フ答辯デアリマスカラシテ、此請願ハ極メテ穩當ナモノデアルト云フコトヲ認メタデアリマス、ドウカ議院ニ於テ御採擇ニナルヤウニ希望致シマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 日程第十七ヲ議題ニ供シマス

○恆松隆慶君 委員長報告ノ通、本院ハ之ヲ採擇スルト決セラレンコトヲ望ミマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 採決ヲ致シマス、本案ハ委員長報告通採擇スルト決スルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ其通決シマス、日程第十八ハ第十七ト同一ノモノデアリマスカラ、別段決ヲ採ルニ及バヌト考ヘマスガ、御異議ガナレバ其通決シマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 日程第十九

○恆松隆慶君 是モ委員長報告ノ通本院ハ之ヲ採擇スルト決セラレンコトヲ望ミ

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○副議長(箕浦勝人君) 決ヲ採リマス、本案ハ採擇スベシトスルニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ、採擇スルコトニ決シマス、チヨット御諮リヲ致シマスガ、鹽專賣法廢止法律案ノ委員、寺井純司君及竹内正志君病氣ノタメ辭任ノ申出ガアリマシタガ、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ許可スルコトニ決シマス、就イテ右ハ議長ノ指名デアリマスカラシテ、其補缺トシテ淺羽靖君、南條吉左衛門君ヲ指名致シマス、次ハ波多野傳三郎君ガ死去セラレマシタガ、同君ハ豫算委員デアリマス、因テ第一部ニ屬スル議員ハ補缺委員ノ選舉ヲ行ハレンコトヲ希望致シマス、尙御諮リ致シマスガ、藤井牧太郎君ハ病氣ノタメ本日ヨリ二週間請暇ノ申出ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ許可スルコトニ決シマス、鵜飼退藏君病氣ノタメ本日ヨリ來ル二十八日マデ請暇ノ申出ガアリマシタ、許可シテ御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)
○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ許可スルコトニ致シマス、林謙三君病氣ノため本日ヨリ三週間請假ノ申出ガアリマシタ、許可シテ御異議アリマセスカ
(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)
○副議長(箕浦勝人君) 御異議ナシト認メテ許可スルコトニ致シマス、報告ガアリマ

(書記朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

渡良瀬川沿岸地方特別地價修正法中改正法律案

提出者 武藤 金吉君 原田 赴城君 持田 若佐君

關口 安太郎君 木村 半兵衛君 石田 仁太郎君

印紙稅法中改正法律案

提出者 服部 小十郎君 鈴木 惣兵衛君 永見 寛二君

三輪 鶴作君 山口 達太郎君 植木 元太郎君

鈴置 倉次郎君 岩元 信兵衛君 内藤 利八君

夏秋蠶講習所設置ニ關スル建議案

提出者 工藤 善助君 佐藤 虎次郎君 南條 吉左衛門君

星野 長太郎君 降旗 元太郎君 朝倉 鐵藏君

鑄寸及軸木法案

提出者 原田 赴城君 柴 四 朗君 尾形 兵太郎君

提出者 磯部 四郎君 小川 平吉君 森 望月 長 夫君

明治三十四年法律第三十九號中改正法律案

提出者 花井 卓藏君 神崎 東藏君 望月 長 夫君

大淵 龍太郎君

一花井卓藏君ヨリ樺太ニ於ケル憲法法律ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲茲ニ掲載ス)

樺太ニ於ケル憲法法律ニ關スル質問書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十年二月十六日

提出者 花井 卓藏

贊成者 大竹 貫一

外二十九名

樺太ニ於ケル憲法法律ニ關スル質問主意書

第一 明治三十八年十月十四日露清和條約ノ批准公表ニヨリ我領有ニ歸

セル南樺太島ニ對スル政府ノ施設ハ今仍ホ交戰狀態ヲ繼續シ憲法上享有

セル我國民ノ權利ヲ蹂躪セルモノ渺カラス政府ハ憲法ノ光被ヲ同島在留臣民

ニ認メサル精神ナリヤ

一 同島ニ於ケル現今ノ司法組織ハ明治三十八年十月九日軍令第二十三

號樺太民政署司法委員條例ニ依リ帝國臣民ノ民事及行政ノ目的ヲ以

テ發シタル軍令其他諸規則違犯ノ刑事ヲ裁判スル規定タリ

二 同島ニ渡航スル者ハ明治三十八年八月七日陸軍省告示第十六號ニヨ

リ渡航ヲ許サレサル者アリ假令渡航ヲ許スモ地方官廳ノ身元證明書及戸

籍謄本ノ携帶ヲ必要トシ且同島官憲ハ必要ニ應ジ渡航者ノ上陸ヲ禁止

シ若クハ抑留シ又ハ退去ヲ命スルノ規定アリ加之軍令第四十一號ハ同

島領域ノ自由旅行ヲ許サス又旅行者ハ常ニ最寄民政支署長ノ許可ヲ受

クヘキモノトナシ之ニ違背スルトキハ嚴重ナル刑罰ニ處セリ而シテ今尙ホ是

等ノ規則ヲ施行シ居レリ

三 軍令第三十二號ハ同島在留臣民ノ集會團體ノ組織ヲ絕對ニ禁止シ之ヲ發

起シ勸誘シタル者及其勸誘ニ應ジタル者ハ百圓以内ノ罰金ニ處シ猶情狀

ニヨリ同島外ニ退去セシムルノ規定タリ又明治三十八年十月二十五日

軍令第二十七號ヲ以テ新聞紙ノ發行ハ民政長官ノ許可ヲ受クルモノト

爲シ且同長官ニ發行停止及許可取消ノ權能ヲ授ケ居レリ

第二 同島ニ於ケル現今ノ民政署組織ハ明治三十八年五月勅令第五百十六

號占領地民政署ノ職員ニ關スル件ノ規定即チ日露交戰中敵國領域ニ於テ民
政施行ノ必要ヨリ發布セラレタル官制ヨリ成ル果シテ然レハ政府ハ今ニ於テ仍
ホ同島ヲ以テ敵國領域ノ占領中ト看做セル乎若ク然ラストモハ同島ハ政府
我領有ニ歸スル同時ニ廢滅ニ歸シタルモノトセサルヘカラス果シテ然ラハ政府ハ
如何ナル法令ニヨリ現在ノ民政長官以下ノ官吏ヲ官吏トシテ認ムルヤ
第三 同島ニ於ケル軍令ハ國家非常ノ場合ニ於ケル憲法上陸海軍統帥權ノ發
動ナリト政府者ノ明言スル所ナリ而シテ今ヤ國家和平ニ歸シ戰事既ニ戢メリ而
モ依然トシテ軍隊統帥ニ關係ナキ軍令ヲ發シテ同島ノ政務ヲ經紀スルハ統帥
權ヲ以テ立法、司法、行政ノ範圍ヲ犯スモノト云ハサルヘカラス殊ニ同島軍令第
十四號マテハ樺太軍司令官ノ名ニ依テ發布シタルモ第十五號以下ハ樺太守
備隊司令官トシテ發布セリ果シテ然レハ政府ハ樺太守備隊司令官ニ同島ニ於
ケル立法、司法、行政一切ノ權能ヲ擧ゲテ屬セシメタルモノ、如シ其法令ノ根據
如何
第四 同島軍令第二號規定ノ九及軍令第二十三號ニ於テ帝國臣民ノ民事一
切及行政ノ目的ヲ以テ發シタル諸規則違犯ノ刑事ニ限リ樺太民政署司法委
員ニヨリ審判スルノ規定存スルモ普通刑法ニ基キ處罰ニ就テハ何等規定ノ見
ルヘキモノナシ果シテ然レハ政府ハ帝國刑法刑事訴訟法ヲ以テ同島ニ施行力ナ
キモノト認メタル乎若ク然ラストモハ政府ハ刑法ノ處罰ヲ何レノ裁判所ニヨツテ
爲セシヤ從來ノ實際ノ取扱ハ如何
第五 帝國民法商法及其附屬法規ハ同島軍令第二十二號ニヨリ之ヲ同島ノ
民事審判ニ準用スヘキ規定アリ右ハ(一)是等法規ハ當然同島ニ施行セラル
ヘキモノナルヨリ其施行ヲ準用ノ程度ニ止ムルノ意ナリヤ將タ(二)是等法規
ハ當然同島ニ施行セラレサルモノナルニヨリ特ニ準用ノ程度ニ於テ施行スル意ナ
ルヤ政府當局ノ主持スル見解如何
第六 現今實施セラレツアル同島ニ關スル法令ニ於テ占領地人民トハ如何ナ
ル人民ヲ指シヤ昨明治三十八年十一月中法令中ノ一部ニ付占領地人民ヲ
外國人ト改正シタルモ總テニ涉ル改正ニアラスト認ム其法令發布ノ當時竝ニ現
今ニ於ケル政府ノ所見如何
第七 同島軍令第二十一號占領地人民刑罰令ハ帝國臣民ニ適用ナシ而シテ
外國人ニ適用スヘキモノトモハ内外人同一ノ取扱ヲ爲スヘキ國際上ノ關係如何
右及質問候也
○副議長(箕浦勝人君) 次ノ議事日程ハ追テ公報ヲ以テ御通知致シマス、是ニテ本
日ハ散會致シマス
午後二時三十九分散會